

（3）領域別に分けた余震活動推移

余震域（図 1-1 の領域 a）を短冊状（図 3-1 の領域 b～e）に分けた活動の推移を図 3 に示す。陸域の領域 b では、2016 年 12 月 28 日に M6.3 の地震が発生した。福島県浜通りから茨城県北部の地震活動を除き、東北地方太平洋沖地震前後で活動に大きな変化は見られない。沿岸域の領域 c では、2016 年 11 月 22 日に M7.4 の地震が発生し、一時的に回数が増加した。領域内の活動は全体的には低下しつつも現在も活発な余震活動が見られる。領域 d、e では、積算地震回数の傾きも緩やかになり余震活動は低下してきたが、時折 M7 前後の地震が発生している。

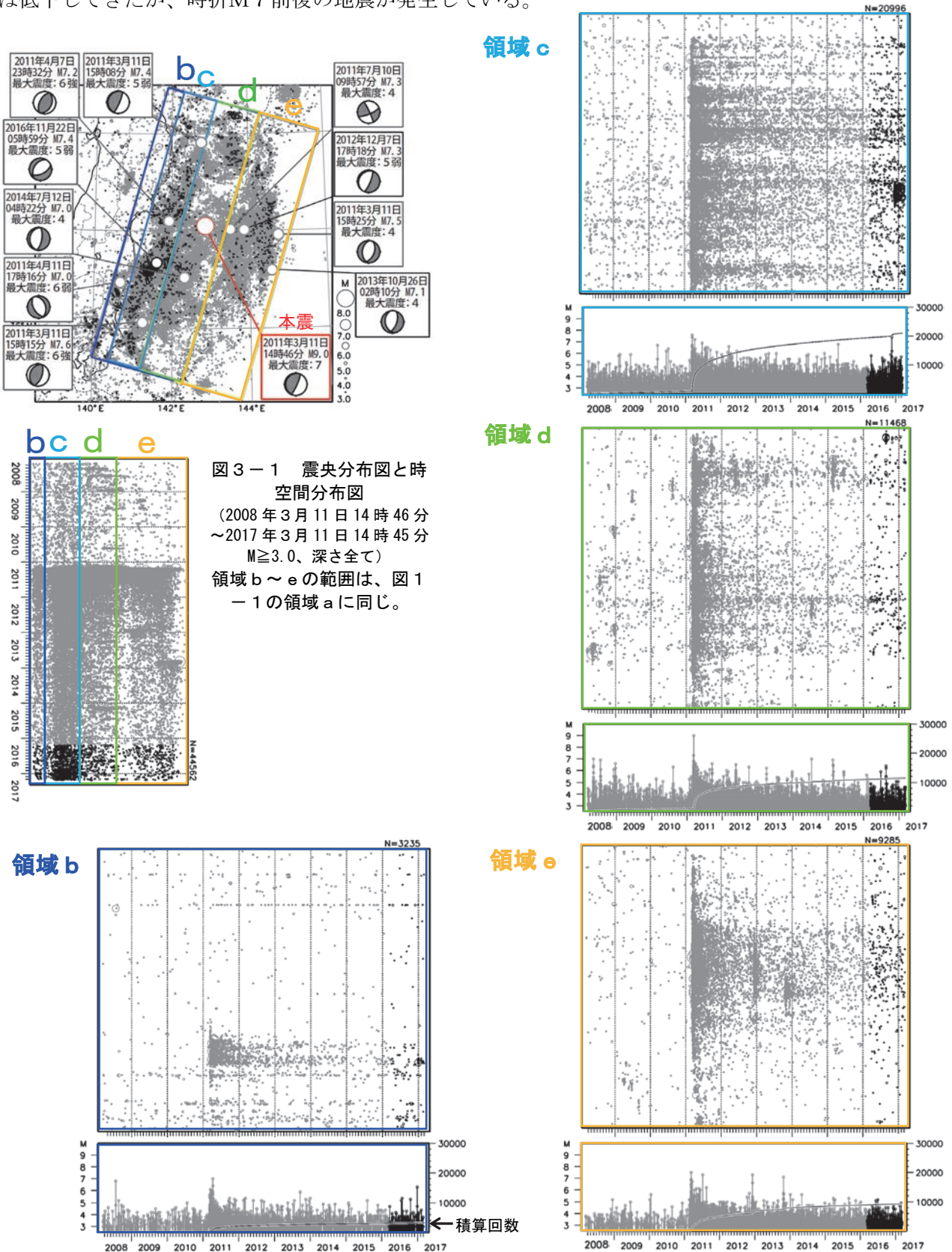


図 3-1 震央分布図と時空間分布図  
 (2008 年 3 月 11 日 14 時 46 分  
 ~2017 年 3 月 11 日 14 時 45 分  
 M $\geq$ 3.0、深さ全て)  
 領域 b～e の範囲は、図 1-1 の領域 a に同じ。

図 3-2 各領域（図 3-1 の領域 b～e）の時空間分布図と M-T 図及び回数積算図  
 (左下：領域 b 右上：領域 c 右中：領域 d 右下：領域 e)